

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 29 年 8 月 3 日 (2017.8.3)

【公開番号】特開 2016-83339 (P2016-83339A)
 【公開日】平成 28 年 5 月 19 日 (2016.5.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-030
 【出願番号】特願 2015-46758 (P2015-46758)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 21 日 (2017.6.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

遊技の進行を制御するメイン処理と、

前記メイン処理とは異なる処理を割込みによって実行する割込み処理と

を実行可能とし、

前記設定キースイッチの操作に基づいて、設定値を確認可能な所定の状態に移行可能とし、

前記設定キースイッチの立ち下がりデータがオンであることに基づいて、前記所定の状態を終了可能とし、

前記所定の状態において電源断が発生し、電源断中に前記設定キースイッチがオンからオフにされ、前記設定キースイッチがオフの状態から電源断から復帰したときは、前記割込み処理を実行する前に、前記メイン処理により、前記設定キースイッチの立ち下がりデータを更新し、その更新の後に、前記割込み処理により前記設定キースイッチの立ち下がりデータの更新を実行可能とすることにより、前記設定キースイッチの立ち下がりデータがオフとなるようにする

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、電源断からの復帰時に意図しない制御処理が実行されることを防止する遊技機に関するものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 2】

従来の遊技機において、電源断が発生したときであっても R W M のデータを消去せず、

電源が投入されたとき（電源断からの復帰時）に、異常に対応した報知を実行する遊技機が知られている（たとえば、特許文献 1 参照）。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献 1】特開 2013 - 094356 号公報

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明が解決しようとする課題は、電源断からの復帰時に、電源断前のデータに基づき意図しない制御処理が実行されることを防止することである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明は、以下の解決手段によって上述の課題を解決する。なお、カッコ書きで、対応する実施形態の構成を示す。

本発明は、

遊技の進行を制御するメイン処理（M_MAIN）と、

前記メイン処理とは異なる処理を割込みによって実行する割込み処理（I_INTR）と

を実行可能とし、

前記設定キースイッチの操作に基づいて、設定値を確認可能な所定の状態に移行可能とし、

前記設定キースイッチの立ち下がりデータがオンであることに基づいて、前記所定の状態を終了可能とし、

前記所定の状態において電源断が発生し、電源断中に前記設定キースイッチがオンからオフにされ、前記設定キースイッチがオフの状態から電源断から復帰したときは、前記割込み処理を実行する前に、前記メイン処理により、前記設定キースイッチの立ち下がりデータを更新し、その更新の後に、前記割込み処理により前記設定キースイッチの立ち下がりデータの更新を実行可能とすることにより、前記設定キースイッチの立ち下がりデータがオフとなるようにする

ことを特徴とする。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明によれば、所定の状態において電源断が発生し、電源断中に設定キースイッチがオンからオフにされた場合であっても、電源断から復帰したときに、意図しない制御処理が実行されることを防止することができる。